

学校教育



習志野市ご当地キャラ
「ナラシド」

令和3年2月17日 発行
No. 120

Narashino Municipal
Board of Education

だより

発行・編集
習志野市教育委員会
〒275-8601
習志野市鷺沼 2-1-1
☎ 047-451-1151 (代表)

習志野市小中書初展



令和三年二月五日～十四日
モリシア津田沼一階
センターコート横にて

二年
夢を信じる
小林 愛佳

市長賞
第六中学校
小林 愛佳 さん

四年
美しい空
小林 咲季

議長賞
鷺沼小学校
小林 咲季 さん

二年
元気な子
門馬 あや

教育長賞
屋敷小学校
門馬 綾 さん



2月6日(土) たくさんの方が足を止めて御覧になっていました!



※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、プラッツ習志野会場で行わず、各学校から代表作品を出展し、審査をして賞を決定しました。(背景は令和元年度の写真です)

市内全ての小・中学校から集められた代表作品の中から、市長賞、議長賞、教育長賞をはじめとした特別賞11点が選ばれました。選ばれた作品は、2月5日(金)～14日(日)までの間、モリシア津田沼で展示され、多くの方々に見ていただきました。

賞	学校	学年	氏名
習志野市文化連盟会長賞	東習志野小	小6	曾我 知花 さん
習志野市PTA連絡協議会長賞	屋敷小	小3	原口 景弥 さん
小中学校長会長賞	第六中	中1	川城 杏依音 さん
小中学校長会長賞	袖西小	小5	三橋 恭 さん
特別支援教育研究連盟理事長賞	第二中	中2	竹内 ひな さん
特別支援教育研究連盟理事長賞	実籾小	小6	渡邊 淳 さん
学年賞	第七中	中3	岡里 那智 さん
学年賞	実花小	小1	鈴木 生実 さん

《第 1 2 0 号》
テーマ 「習志野っ子の活躍／ICT教育環境整備プロジェクト」
《目 次》

令和2年度小中書初展	…1
習志野っ子の活躍(習志野高校)	…2
習志野っ子の活躍(中学校)	…3
習志野っ子の活躍(小学校)	…4
青少年センターアンケート結果	…5
ICT教育環境整備プロジェクト/第五中表彰	…6
特色ある教育活動紹介～鷺沼小学校～	…7
調印式/習志野高校ニュース/教育長コラ	…8

習志野っ子の活躍

習志野 高校



全日本バレーボール
高等学校選手権大会

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会が1月5日(火)より東京体育館で行われました。習志野高校男子バレー部は1回戦で岡山県の玉野光南高校と対戦し、1セット目を落とすという厳しい立ち上がりとなりましたが、持ち前の粘り強さで2セット目・3セット目を勝利し、2回戦にコマを進めました。2回戦は優勝校との対戦で、チーム一丸となって戦いましたが、惜敗となりました。



コロナ禍の中で、最後の春高バレーに出場させていただき、最高の経験をさせてもらいました。これまで関わってくださったすべての方々に対して、感謝で一杯です。3年間ありがとうございました！

男子バレーボール部 部長 大林 晴 さん



	1	2	3	TOTAL
習志野 (千葉県)	25	25	25	2
玉野光南 (岡山)	27	15	20	1

第26回東関東アンサンブルコンテスト



第26回東関東アンサンブルコンテストが1月23日(土)、茨城県牛久市の中央生涯学習センターで行われました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ステージ演奏は取りやめ、事前提出された演奏の映像を会場に映しての審査となりました。



フルート四重奏

今回行われた東関東アンサンブルコンテストで、金賞をいただくことができました。良い賞をいただきましたが、全国大会に進むことが出来なかったのがとても悔しいです。来年度は、全国大会目指して頑張ります。

1-A 小屋 友菜 さん

クラリネット四重奏

約半年間、メンバーと協力して曲を作り上げていくという貴重な経験が出来て、忘れられない思い出となりました。全国大会に出場できなかったことは悔しいと思いますが、この経験を今後の活動に生かしていきたいと思えます。

2-E 宮島 桃子 さん



※写真撮影時のみマスクを外しています

習志野っ子の活躍

中学校



習志野市立第七中学校 男子バレーボール部



第50回千葉県中学校 新人バレーボール大会 優勝

西地区

優勝



僕たちは新チームとなって、新人戦千葉県大会での優勝を目標に顧問の河村先生とコーチの指導の下練習を積み重ねてきました。その成果として、県新人戦を優勝することができました。

次の目標は総合体育大会での県優勝、関東大会ベスト4、全国大会1勝です。一人ひとりがより心身ともに成長できるように、一日一日の練習に全力を注いで取り組みます。僕たち習志野七中男子バレー部を応援してくださった皆様、ありがとうございました。

男子バレー部 部長 村上 健斗 さん

TBS こども音楽コンクール審査会中学校管楽合奏部門

習志野市立第五中学校 吹奏楽部

最優秀賞

私達は「虹」を全体目標に掲げ、日々楽しく、懸命に活動しています。この情勢の中、TBS こども音楽コンクールに仲間と共に出場出来た事を嬉しく思います。そして、最優秀賞というとても素晴らしい賞を頂くことができ、大変光栄です。「虹」のような音楽を、皆さんの心へかけられるよう、これからも部員一同努めていきますので、応援よろしくお願ひ致します。

吹奏楽部 部長 今井 青空 さん



習志野市立第四中学校 柔道部 吹奏楽部



千葉県中学校新人柔道大会 優勝

今年は、新型コロナウイルスで試合がなくなり、練習もなくなりました。しかし、腐ることなく、その自粛期間、毎日自分で考えてトレーニングやダッシュをして自分の体力や筋力を維持する努力を続けたことが県大会優勝という結果に結びついたと思います。そして、このコロナ禍で練習場所を提供して下さった方々や自分を指導して下さった先生方、多くの方に支えてもらい、練習に取り組むことができました。夏の総体に向けて一層努力を続けていきたいと思ひます。

柔道部 小川 皓太郎 さん

日本管楽器合奏コンテスト全国大会

最優秀賞

今年度は新型コロナウイルスの影響で練習が制限されてしまうこともありましたが、例年以上に精度の高い練習ができるよう皆で協力してここまで来ることができました。このような結果を頂くことができたのは、先生方や応援して下さった方々の支えがあってこそだと思ひます。本当にありがとうございました。これからもたくさんの方々に応援していただけるように頑張りますので応援よろしくお願ひいたします。

吹奏楽部 部長 志田 華澄 さん



※写真撮影時のみマスクを外しています

習志野っ子の活躍

小学校



令和2年「こども県展」開幕！想像力豊か5434作品 特設サイトでオンライン展示

おめでとうございます



課題図書



祝
県知事賞！



東習志野小 中村 朱里 さん

がんばったところは、肌の色や服の色です。手などの影をうっすらつけたところもがんばりました。下描きの、下を向いている顔や、となりの人ののぞき込んでいる顔、そして手を意識して描きました。

県知事賞と先生から伝えられた時、最初はどんな賞かよくわかりませんでした。でも、時がたつにつれ、どんな賞かわかってきました。とてもすごい賞とわかって、とてもうれしかったです。

国土緑化運動ポスター 原画コンクール

祝 県知事賞！

谷津南小 田中 里歩 さん

毎年応募している私の絵には、ストーリーがあります。2年生の時には小さな苗を持っている様子の絵を描き、3年生では少し木が成長して、せいぐらべの絵を描きました。そして今年4年生では、苗から成長して大きくなった木に、ブランコを付けて楽しく遊んでいる様子を描きました。

最後に、この絵を見た人には「すごい」や「かわいい」ではなく、緑の自然の良さを感じてもらい、私の自然への想いが伝わると良いなと思います。



第66回青少年読書感想文 コンクール千葉県大会

祝 最優秀賞！

藤崎小 村上 葵子 さん

はじめに、応援してくれた先生方、「おめでとう」とお祝いの言葉を言ってくれた友達に感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。私は、「子ども食堂 かみふうせん」という本を読んで、食べることの意味を考えて読書感想文を書きました。コロナで自粛期間という普段とは違った状況だからこそ、考えたり感じたりすることがありました。

私は一冊の本からたくさんの気付きがあると思います。これからも本との出会いと自分の気付きを大切にしていきたいです。ありがとうございました。



第44回千葉県課題図書 小・中学校児童生徒 読書感想文コンクール

祝 最優秀賞！

屋敷小 濱田 歩岳 さん

本屋さんで読書感想文の本を選ぶとき、この本を見つけました。僕は、犬が苦手だったけど、これを読んだら動物を好きになれるかなと思って選びました。何度も読んでいくうちに、主人公の気持ちがどんどんわかってきました。読み終わったとき、少し犬のことが好きになりました。賞をもらった時、僕の気持ちが伝わった気がして嬉しかったです。また来年も、読書感想文に挑戦したいです。



祝 TBS こども音楽コンクール 管弦楽合奏第2部門 最優秀賞！

谷津小学校



私たち谷津小学校管弦楽クラブは、92人で活動しています。部員が多い中、密にならないように弦と管で分奏するなど、練習を工夫してきました。今年は練習開始時期が遅かったため、そろりまで大変でしたが、一人一人それぞれのパートに責任を持ち、コンクールに向けて心を一つにして取り組んできました。一生懸命練習した成果が実を結び、良い結果を頂くことができてとてもうれしいです。応援してくださるみなさまに恩返しができるようにこれからも頑張りたいと思います。

※写真撮影時のみマスクを外しています

情報端末の普及により、気軽にインターネットにアクセスできるようになったことから、青少年がじめやトラブル、犯罪等に巻き込まれるリスクが高まっているほか、家族とのコミュニケーションや家庭学習時間減少や生活リズムの不規則化等が懸念されます。令和2年度は、コロナ禍の下、SNS等で知り合った相手からの自画撮り被害未然防止のための県条例の改正、またネット上の誹謗中傷問題も注目されました。本市においても、このようなりスクに対応するため、学校、家庭、地域、行政諸機関が連携し、実態を分析したうえで児童・生徒に対し、継続して情報モラル教育を実施し、地域・保護者にも啓発をしていきます。

市内小中学校における児童生徒への指導状況【令和2年度（1月集計）】

単位：実施校数

指導内容	小学校				中学校	
	低学年	中学年	高学年	全校	学年	全校
フィルタリング	5	9	15	3	3	1
学校裏サイト	0	3	4	1	0	0
迷惑メール、架空請求	3	10	19	1	0	1
プロフやブログ（個人情報・著作権）	5	7	15	1	7	1
使用時間	17	16	18	3	10	1
ゲームサイト	9	11	19	2	7	1
SNS（ネットコミュニケーション）	11	21	29	1	10	2
その他	4	3	4	1	0	0

小中学校では、保護者会やPTA総会だけでなく、各種便り等でも啓発を行っています。また、研修会としても、補連協・青連協合同研修や学校を核とする1000か所ミニ集会においてインターネット適正利用啓発講演〔県民・生活文化課〕やインターネット配信型で「子どもが生きるネット社会の現状～大人として知っておきたいこと～〔NPO法人イーランチ〕」を補連協研修で、校内教職員研修での「調べ学習による著作権について」や「SNSの利用における注意点について」が実施されています。



講演の様子

「青少年のインターネット適正利用」をテーマに、千葉県環境生活部県民生活・文化課子ども・若者育成支援室の鈴木賢三氏の講演に参加しました。子ども達がインターネットと上手く付き合っていくために、「私たち大人ができることは何か」また、「生身の人間として、どう大人が見守っていくか」という問いかけが印象的であり、直面している課題であると感じました。

～ 調査の結果から ～

- 調査の結果を踏まえ、子ども達をインターネットのトラブルから守るためには、次の3つが大切です。
- ① 子ども達に、正しい使用方法と合わせてネット利用の危険性を早期から教えること。
 - ② 露見しづらいネットトラブルに対し子どもの様子を注意深く見守りつつ、問題発生時の対応方法を教えること。
 - ③ 保護者に、家庭での実効性のあるルール作りについて啓発すること。
(子どもに「自分ごと」と思わせられるとよい)

各学校においては、他校の実践や文科省HP「情報モラル教育の充実」(令和2年度は「ネットにつなぐとき守ってほしい大切なこと」)に掲載されている指導資料を活用した情報モラル教育の実施を継続します。また、インターネットのトラブルは、巻き込まれても周囲に打ち明けられずに一人で悩みを抱え込んでしまうケースがほとんどです。教育相談や普段のつながりの中で、子どもと良好な関係を築き、些細な変化を見逃さないことも大切となります。

速報 ICT教育環境整備プロジェクト

初期層教職員研修 ～学校と家庭をつなぐ想定で行った演習～

令和2年11月4日(水)、11月20日(金)11月25日(水)に、市内小・中学校を会場にして、初期層教職員研修を実施し、オンラインで学校と家庭をつなぐ想定で、朝の会や模擬授業の演習を行いました。栄養・養護・事務職員についても、今後オンラインで会議が行われることを想定して、双方向のやりとりを体験しました。

1・2月の初期層研修はオンラインで実施し、一人一人が話したり、チャット機能を活用したりする場面を設け、より実践的な演習を行ったことで、児童生徒の学びを保障するために、学校と家庭をつなぐイメージをもつことができました。

【研修後の感想】

- 休校時に離れていてもコミュニケーションがとれる。
- 1人1台にタブレット端末が配付されたら、学習の幅が広がり児童生徒の授業に対する意欲が高まりそう。
- 一人一人の反応や思考が分かりやすくなる。

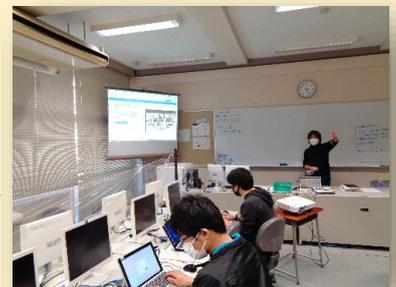


各校校内研修 ～「Teams」の基本操作～



現在、各学校では、来年度使用するコミュニケーションツールの「Teams」の基本操作に関する校内研修が実施されています。情報推進リーダーが中心となり、「Teams」の仕組みや情報交換の方法について、校内の全職員で演習を行いながら理解を深めています。

来年度は、「Teams」を使って課題配付が行えるようになるほか、クラスで動画などの資料を配信したり、共有したりできるようになり、クラスメイトと意見を交換しながら、グループで1つの成果物を作成するなどの協働学習ができるようになります。また、休校時でも学校と家庭をつなぐことができます。



谷津南小学校での研修風景

千葉県学校健康教育優良学校功績表彰（第五中学校）

令和元年度に千葉県教育委員会の指定を受けて、「がん教育授業の実践研修会」に取り組みました。3年生の保健体育の授業実践では「がん教育に係る外部講師派遣」を活用し、外部講師を招いて、がん患者の気持ちや早期発見の大切さについて学びました。他にも「歯科健康教室」や「生活習慣病予防講座」



校長室にて、教育長から校長先生に表彰状が手渡されました！

を開催、事後に内容を家庭に広く周知する等、家庭や地域との連携が図られ、その成果も顕著であることから表彰を受けました。

おめでとうございます！
ございます！

習志野市立鷺沼小学校



児童数：768人 教員数：50人

校長：武井 康至 教頭：和田 正浩

学校教育目標 「自ら考え行動する、心豊かな人間性の育成」



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 5

歴史ある地域「鷺沼」

本校は明治7年11月、学制に基づき慈眼寺において授業が開始されました。その後明治41年に津田沼尋常小学校設置により廃止されましたが、昭和28年に津田沼小学校から分離独立し、現在に至っています。地域に長く根ざしてきた歴史ある学校といえます。



鷺沼小のガラスメッセージ

本校はバスの通る大通りに面しており、地域からも目に入る校舎が特徴です。

この立地を生かしメッセージで新型コロナウイルスへの注意喚起や学校の状況を伝えていくこととしました。

お近くをお通りの際にはぜひご覧ください。



ガラスメッセージだけでなく事務室の受付も季節ごとに飾りつけられています！！



「あきらめない」ことを学んだ運動会



10月18日(日)に運動会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全児童を午前登校組と午後登校組の2つに分けて、午前と午後それぞれに運動会を実施しました。



校長先生からは、「転んでも、失敗しても『あきらめない』で頑張ろう😊！」と、話があり、子ども達はどの競技・演技にも全力を尽くしていました。

6年生は、応援団を中心に全校のために係活動を頑張ってくれました！！

習志野市教育委員会並びに千葉大学教育学部による相互協力に関する協定書の締結

1月21日(木)千葉大学教育学部教授 伊坂淳一先生が来庁され、習志野市教育委員会並びに千葉大学教育学部による相互協力に関する協定書の調印式が執り行われました。市立小中学校の要請により、学生を派遣して学習支援やその他学校教育活動をサポートするという内容になっています。



協定書締結のため調印



よろしくお願いします！

今回は習志野高校の伝統である「文武両道」の「文」について紹介します！！

雑草の如く逞しく

～習志野高校ニュース～

写真は、11月17日に、3年文類型「生物」の授業で行われたDNA抽出実験の様子です。かずさDNA研究所から4名の先生方においていただき、出前授業を行いました。模型や映像を使ってDNAについての理解を深

めてから、実際に、ブロッコリーのDNAを抽出します。ごく少量の薬品を正確に測り取るために、一人ひとりがマイクロピペットを真剣な表情で操作していました。翌18日には、3年理類型の12名が理科選択「生物」の授業で、更に高度なPCR検査による「謎のお肉」分析実験に取り組み、科学者になりきって、与えられた試料が何の肉か特定していました。ここでの経験をきっかけに、将来、生命科学に関わる人材がうまれるとうれしいですね。

♪～好きですふるさと習志野～♪

教育長コラム

本市を拠点としている「オービックシーガルズ」が、アメリカンフットボールの日本選手権である「ライスボウル」で、大学チャンピオンの関西学院大を破り、7年ぶり8度目の頂点に輝きました。市内の多くの学校が、フラッグフットボールなど体育の時間でお世話になっており、大変に嬉しいニュースとなりました。この「ライスボウル」＝日本一決定戦ですが、学生と社会人では力の差があり、今後はなくなる方向性で検討されているとの報道がありました。アメリカンフットボールは格闘球技とも呼ばれ、経験と熟練がものを言い、学生にとって、社会人との戦いは危険も多いとのこと。一方で、将棋の藤井聡太二冠をはじめ、卓球の張本選手や伊藤選手（全日本選手権は残念な結果となりましたが）など、若い力の台頭は著しいものがあります。まさに若い力がベテランを脅かしているとも言えます。

さて、教育界に目を転じてみると、令和3年は、いよいよ「タブレット元年」「デジタル教科書元年」となります。また、20代、30代の若い先生方が半数以上を占める学校の現状もあります。新しい教育機器、若い先生方には大いに期待しています。一方で「発問・板書・ノート」そしてベテランの経験と熟練の技もなくてはならないものです。教育界は若手とベテランによる相乗効果に期待をしています。

(教育長 小熊 隆)